

## 第38回「放送文化基金賞」表彰対象について

### 放送文化基金賞

放送文化基金賞は、過去1年間(平成23年4月～24年3月)の放送の中から選ばれた、優れたテレビ、ラジオ番組や個人・グループに毎年贈られる歴史ある開かれた賞です。38回目を迎えた今回は、東日本大震災の一年ということもあり、全国の民放、NHK、それにプロダクションなどから、例年を上回る259件の応募、推薦がありました。4月、5月の2か月近い厳正な審査の結果、テレビドキュメンタリー、ドラマ、エンターテインメント、それにラジオの4つの番組部門で、それぞれ本賞、優秀賞など16本の番組と演技賞や映像賞など個別分野5件。さらに個人・グループ部門の放送文化、放送技術で5件の基金賞が決まりました。このうち、<テレビドキュメンタリー>、<ラジオ>、<放送文化>では、震災関連の番組や取材・制作グループが数多く受賞することになりました。

主な受賞番組は、テレビドキュメンタリー番組では、『幾歳経るとも要心あれー2011.03.11. 東日本大震災ー』(IBC岩手放送)と『NHKスペシャル 38分間 巨大津波 いのちの記録』(NHK)が、いずれも本賞を受賞します。ドラマ番組の本賞は、『スペシャルドラマ「坂の上の雲」』(NHK)です。

ラジオ番組の本賞は、『遠いふるさと～フクシマの家族・2011～』(NHK福島放送局)です。

個人・グループ部門の放送文化では、東海テレビ放送の齊藤潤一ディレクターやJNN三陸臨時支局などが受賞します。

受賞番組、受賞者には、賞牌・トロフィー、賞金が贈呈されます。

賞金は、番組部門 本賞—80万円、優秀賞—40万円、各番組賞—20万円、番組部門の個別分野—各10万円、個人・グループ部門—各30万円です。

### 特別賞

昨年3月の東日本大震災の後、被災地で次々と立ち上がった【臨時災害放送局】29局に対し、番組部門、個人・グループ部門とは別に<特別賞>を贈呈することになりました。これほど多くの臨時災害放送局が開設されたことはかつてなく、市町村単位のFM放送を通じて、被災地住民・地域に密着した救援、

支援にあたった活動を表彰し永く記録に残すべく贈るものです。放送文化基金賞の長い歴史の上でも基金賞特別賞の贈呈は初めての事です。

## 贈呈式

贈呈式は、平成24年6月22日(金)午後4時30分から千代田放送会館ホール(東京都千代田区紀尾井町)で実施します。

### 1 番組部門—————16番組、5件

- (1) テレビドキュメンタリー番組……………5番組  
本賞—2 優秀賞—1 テレビドキュメンタリー番組賞—2
- (2) テレビドラマ番組……………4番組  
本賞—1 優秀賞—1 テレビドラマ番組賞—2
- (3) テレビエンターテインメント番組……………4番組  
本賞—該当なし 優秀賞—2 テレビエンターテインメント番組賞—2
- (4) ラジオ番組……………3番組  
本賞—1 優秀賞—1 ラジオ番組賞—1
- (5) 個別分野賞……………5件
  - 「演技賞」——2件
  - 「出演者賞」——1件
  - 「企画賞」——1件
  - 「映像賞」——1件

### 2 個人・グループ部門—————5件

- (1) 放送文化……………3件
- (2) 放送技術……………2件

お問い合わせ先 放送文化基金(担当 安部)  
東京都渋谷区宇田川町41-1 共同ビル5F  
TEL(03)3464-3131  
<http://www.hbf.or.jp>

## 第38回「放送文化基金賞」受賞一覧

部 門	賞 (賞金)	受 賞 者	番 組 名 ・ 業 績	
番 組 部 門	テレビドキュメンタリー番組	本 賞 (80万円)	I B C岩手放送 幾歳経るとも要心あれ - 2 0 1 1 . 0 3 . 1 1 . 東日本大震災 -	
		(80万円)	NHK NHKスペシャル 38分間 巨大津波 いのちの記録	
		優 秀 賞 (40万円)	プロダクション・エイシア、NHK、NHKエンタープライズ NHKスペシャル クニ子おばと不思議の森	
		テレビドキュメンタリー番組賞 (20万円)	NHK広島放送局 NHKスペシャル 原爆投下 活かされなかった極秘情報	
	テレビドラマ番組	本 賞 (80万円)	NHK スペシャルドラマ「坂の上の雲」	
		優 秀 賞 (40万円)	NHK大阪放送局 連続テレビ小説 カーネーション	
		テレビドラマ番組賞 (20万円)	フジテレビジョン 木曜劇場 最後から二番目の恋	
		(20万円)	テレビ東京 鈴木先生	
	テレビエンターテインメント番組	本 賞 (80万円)	該当なし	
		優 秀 賞 (40万円)	フジテレビジョン I P P O N グランプリ	
		(40万円)	テレビ大阪 和風総本家 世界で見つけたMade in Japan	
		テレビエンターテインメント番組賞 (20万円)	B S 日本 ぶらぶら美術・博物館 愛知県美術館「生誕100年ジャクソン・ポロック展」 ～ピカソを超えた男・ポロック、日本初の回顧展～	
	ラジオ番組	本 賞 (80万円)	NHK福島放送局 ママからの手紙 ～10年後に届いたメッセージ～	
		優 秀 賞 (40万円)	エフエム東京 山下達郎のTSUTAYAサンデー・ソングブック	
		ラジオ番組賞 (20万円)	NHK FMシアター 飛ばせハイウェイ、飛ばせ人生	
		個別分野	演 技 賞 (10万円)	本木 雅弘 「坂の上の雲」
			演 技 賞 (10万円)	小泉 今日子 「最後から二番目の恋」
	出 演 者 賞 (10万円)		山下 達郎 「山下達郎のTSUTAYAサンデー・ソングブック」	
	企 画 賞 (10万円)		藤好 耕 「ぶらぶら美術・博物館」	
	映 像 賞 (10万円)		木下 義則 「幾歳経るとも要心あれ」	
個人・グループ部門	放送文化	(30万円)	齊藤 潤一 (東海テレビ放送 報道部ディレクター) 司法をテーマにした優れたドキュメンタリーの制作と多様な表現活動の展開	
		(30万円)	J N N 三陸臨時支局 東日本大震災の被災地に開設した民放ニュースネットワーク初の臨時支局での持続的な報道活動	
		(30万円)	NHK E T V 特集取材班 E T V 特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」シリーズの制作	
	放送技術	(30万円)	地上デジタル放送受信インフラ情報把握分析グループ 代表 津田 健吾 (デジタル放送推進協会、NHK) 地上デジタル受信インフラ管理分析システムの運用による、受信者の地デジ移行を推進	
		(30万円)	マクロダイバーシチ受信システム開発グループ 代表 光山 和彦 (NHK) 移動中継用マイクロ波帯マクロダイバーシチ受信システムの開発	

\*番組部門の各賞と個人・グループ部門は、受付順による。

特 別 賞	受 賞 者	業 績
	東日本大震災後に開設された臨時災害放送局 (29局)	東日本大震災の被災地で臨時災害放送局を立ち上げ、被災住民の救援や支援活動を続けた。

第38回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビドキュメンタリー番組 —

本 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概 要	選 考 理 由
<p>幾歳経るとも要心あれ — 2011.03.11. 東日本大震災 —</p> <p>平成 23. 5. 28 (金)</p> <p>I B C 岩手放送</p>	<p>プロデューサー 眞下 卓也                      ディレクター 井上 学                      編集・カメラ 小川 祐                      取材・報告 鹿野 真源                      武田 博志                      カメラ・報告 木下 義則                      出演 柳澤 精一                      柿野 祥子                      ほか</p>	<p>東日本大震災の大津波で岩手県内でも多くの尊い命が奪われた釜石。過去に悲しい経験を繰り返し“津波への警戒心を世界一高く持つ地域”であることを自負しながらも、多くの死者を出してしまったのはなぜなのか。自らも家を流されたIBC報道部契約カメラマン・木下義則氏が撮影した映像にはこれまでの概念を覆す津波が記録されていた。彼は、津波に備えた取材活動中、岸壁近くのビルで津波に遭遇、眼下を駆け抜ける津波やビルで一夜を明かした様子などを撮影。あの時を振り返りながら、取材者として、被災者として、そして、釜石を愛する市民としての心中を吐き出した。宮古市の姉吉地区に「此处より下に家を建てるな 幾歳経るとも要心あれ」と刻まれた大津波記念碑がある。この集落は石碑の教えを守り無事だった。今回も辿り着いた教訓はここだった。</p>	<p>釜石市在住の契約カメラマンが大津波にのまれて消えてゆく市民と街を過酷な状況に耐えながら、ただただ誠実に写し取った。</p> <p>映像にも報告にも被災者や被災地に深いかわりを抱いていることが染み出ている。</p> <p>これが自分達の住む故郷の姿だという作り手の感情と意識が伝わる。</p>
<p>NHKスペシャル                      38分間 巨大津波                      いのちの記録</p> <p>平成 24. 3. 5 (月)</p> <p>NHK</p>	<p>取材・撮影・                      報告 徳田 憲亮                      撮影 井上 秀夫                      編集 赤坂麻衣子                      音響効果 小野さおり                      ディレクター 石田 望                      制作統括 中村 直文                      高山 仁                      渡辺 健策</p>	<p>巨大津波が釜石の町を襲う一部始終を撮影した「38分間」。NHKの地域採用で、釜石報道室に勤める徳田憲亮記者が避難所となっていた高台から撮影した。映像には、建物の屋根に逃れ九死に一生を得た人の姿や、高台に避難して徳田記者のインタビューに答えながらも、その後行方不明になった人など、津波に直面した人々の「生」と「死」が刻まれていた。</p> <p>“偶然”映像を記録してしまった徳田記者は「得体の知れない罪悪感」のようなものを抱えることになった。取材チームを組み、映像に映っていた289人の足跡をたどり、あの日の生々しい証言を記録し、津波が人々にもたらしたその後の現実を、1年にわたり見つめてきた。地域を根こそぎ奪ってしまう津波の現実。家族が見つからないため、絶望と希望の間を行き来し続ける行方不明の重み。津波の「あの日」と「その後」を見つめた記録。</p>	<p>NHKの地域採用記者による映像と取材を番組の中心に据え、地域性が濃い番組である。</p> <p>「とてつもないもの」を記録してしまったことへの畏怖と、失われた命への哀惜の念が込められている。</p> <p>撮影者であると同時に一人の人間として、被災した人々や地域に真摯に向き合う制作者の姿がある。</p>

優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概 要	選 考 理 由
NHKスペシャル クニ子おばばと不思議の森  平成 23. 9. 25 (日)  プロダクション・エイシア NHK NHKエンタープライズ	制作統括 伊藤 純 三上八州志 紙屋 聡 大兼久由美 ディレクター 柴田 昌平 取材 堀部 拓磨 松井 至 撮影 那倉 幸一 音声 門倉 徹 映像技術 北澤 孝司 編集 北森 朋樹 音響効果 花田 晃利 題字 財前 謙 かつみの声 菅原 文太 出演 椎葉クニ子	秘境と呼ばれる宮崎・椎葉村。森を若返らせる焼畑農業を続ける最後の一人・椎葉クニ子さん(87歳)は、土中の生き物と一体となり、命を循環させる営みを続ける。焼畑といっても南米や東南アジアの大規模開発のような略奪的なものではない。毎年焼く場所を変えながら少しずつ畑を作り、4年収穫したら放置して森に返す。そして30年周期で山全体を一巡する。土の中の生き物達と同じように、人間が自然の循環の一部となって暮らす最後の風景がここにある。縄文以来続けられてきたという焼畑の営みに込められた日本人の知恵を、特殊撮影を駆使し描いた。	焼畑だけではなく、知恵の伝達こそが日本のありようの原点なのだと確信させる力が、この作品にはある。自然への畏敬の気持ちが良く出ている。自然と共生する強さと優しさ、美しい映像に胸を打たれる。

テレビドキュメンタリー番組賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概 要	選 考 理 由
NHKスペシャル 原爆投下 活かされなかった極秘情報  平成 23. 8. 6 (土)  NHK広島放送局	制作統括 井上 恭介 春原 雄策 ディレクター 松木 秀文 夜久 恭裕 映像取材 佐々倉 大 編集 川村 昌弘 音響効果 小野さおり 映像デザイン 山本 亨二 音声・照明 西野 誠史 語り 伊東 敏恵 声の出演 坂口 芳貞	広島・長崎あわせて20万を超える命を奪った原子爆弾。これまで日本は、アメリカが原爆攻撃の準備をしていることを知らないまま、“想定外”の奇襲を受けたとしてきた。しかし実際は、原爆投下に向けた米軍の動きを事前に察知していたことが、新たな証言と資料から明らかになってきた。番組では、原爆投下を巡る日本側の動きを克明に追う。情報を掴みながらも、なぜ空襲警報すら出されることなく、多くの命が亡くならなければならなかったのか。原爆投下から66年、その問いに初めて迫る調査報道。	66年前の「大本営」が、まさに原爆の事故の真実を明らかにしない政府や東電の隠蔽体質と重なる意味で、いまだに引きずる根深さを痛感させる。67年経った原爆の惨禍を風化させまいとする広島局の姿勢は尊敬に値する。
NHKスペシャル シリーズ原発危機 知られざる放射能汚染 ～海からの緊急報告～  平成 24. 1. 15 (日)  NHK	制作統括 藤川 正浩 日置 一太 水野 重理 増田 秀樹 ディレクター 眞木 隆志 池本 端 安田達一郎 岩田 真治 取材 佐藤 隆洋 稲垣 雄也 吉見 和紀 田 容承 撮影 松下 猛 CG制作 織田 芳人 編集 八角 勝利 音響効果 福井 純子 語り 和田 源二 柴田祐規子	福島第一原発事故によって、大気中に、そして海に放出された大量の放射性物質。放射能汚染はどこまで広がり、その影響はいつまで続くのか。取材班は専門家とともに初めて原発から20km圏内の海の本格的な汚染調査を実施。同時に陸においては、山間部の湖から河川も含めた広範囲の調査も行った。調査からみえてきたのは、放射性セシウムが泥に付着してホットスポットを作り、水の流れとともに移動している実態であった。陸から海へそして海の底を移動しながら長期に亘って人々の生活を脅かす放射能汚染の実態に迫る。	東電福島原発の事故による放射能汚染の実態を研究者と共に海、川、湖などを独自に調査した貴重な番組。放射能汚染は、長年にわたって健康を脅かすものだけに、今後も多義にわたって広く深い取り組みを期待したい。

第38回 放送文化基金賞  
「番組部門」  
- テレビドラマ番組 -

本 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概 要	選考理由	
スペシャルドラマ 「坂の上の雲」  平成 21. 11. 29 (日) ～平成 23. 12. 25 (日) 〈全 13 回〉 応募は最終回 日本海海戦  NHK	企画・制作 プロデューサー 制作統括 演出・脚本 脚本  原作 出演	西村与志木 菅 康弘 藤澤 浩一 中村 高志 加藤 拓 野沢 尚 柴田 岳志 佐藤 幹夫 司馬遼太郎 本木 雅弘 阿部 寛 香川 照之 菅野 美穂 松 たか子 石原さとみ 竹下 景子 竹中 直人 石坂 浩二 加藤 剛 高橋 英樹 渡 哲也 ほか	司馬遼太郎氏の同名小説のドラマ化。19世紀後半、欧米列強による帝国主義の世界のただ中に、明治維新を経て近代国家として生まれたばかりの「少年の国」である日本が、坂の上に輝く雲をめざして歩み続け、ついにヨーロッパの強国であるロシアと対決するにいたる物語。全13回シリーズで、平成21年から3年に亘り放送。最終回は、日露戦争の勝敗を決することとなった日本海海戦と、ポーツマス講和会議から日比谷焼き討ち事件にいたる戦後の日本の状況、そして主人公たちのその後を描く。作戦参謀、秋山真之（本木雅弘）の立てた「敵前大回頭」という大胆な作戦により、連合艦隊はバルチック艦隊に壊滅的打撃を与えて勝利を収めるが、日本の国力は限界にきていた。政府はロシアと講和を結ぶが賠償金を得られず、新聞各紙や民衆に批難される。多くの人の死に接した真之は深い苦悩を抱える。明治日本という「少年の国」は坂の上の雲を目指し、一生懸命に坂を登ってきた。しかし、その先にあったのは明るい未来だけではなかった。	3年に亘って放送し、極めて壮大なスケールのドラマになった。入念なドラマ作りという視点から高い評価を受けた。原作の司馬遼太郎著「坂の上の雲」を多角的な視点からとらえ、また、最新の映像技術を駆使した制作力や、NHKの総力、スタッフの情熱を集結させた作品で、テレビドラマの歴史に残る堂々たる作品との評価。

優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概 要	選考理由	
連続テレビ小説 カーネーション  平成 23. 10. 3 (月) ～平成 24. 3. 31 (土) 応募は 総集編 前編 あこがれ (23. 12. 31 放送)  NHK大阪放送局	制作統括 プロデューサー 演出 美術 技術 音響効果 脚本 音楽 主題歌 出演	城谷 厚司 内田 ゆき 田中 健二 藤井 俊樹 大須賀弘之 嶋野 聡 渡辺 あや 佐藤 直紀 椎名 林檎 尾野真千子 夏木 マリ 小林 薫 麻生 祐未 新山 千春 川崎亜沙美 安田美沙子 宝田 明 十朱 幸代 近藤 正臣 ほか	日本のファッションデザイナーの草分けとして活躍、やがて女手ひとつで3人の娘を世界的デザイナーに育て上げたヒロイン・小原糸子の波乱万丈の物語。大正2年に生まれた糸子は、大阪・岸和田の呉服商の娘としてすくすくと成長。生まれながらにおてんばの糸子はだんじり祭りが大好き。しかし、だんじりを曳く事ができるのは男だけ。「女より男やったら人生どんなに楽しいんやろ・・・」そう思った糸子は「女にしかできないことを見つけて自由に生きたい」と裁縫の道を選んだ。あらゆる困難に耐え、戦火をくぐり抜けて逞しく生きるヒロインの姿を描く。	新しいタイプのパワフルな女性像をお茶の間に届けて多くの人々に感動と元気を与えた。登場人物の一人ひとりが実に人間臭く、生き生きと描かれ、脚本、キャスト、演出の三位一体の相乗効果で力強い吸引力のあるドラマになった。朝の連続テレビ小説に新風を吹き込んだ。

テレビドラマ番組賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概 要	選 考 理 由
<p>木曜劇場 最後から二番目の恋</p> <p>平成 24. 1. 12 (木) ～3. 22 (木) 〈全 11 回〉 応募は第 1 回、第 11 回</p> <p>フジテレビジョン</p>	<p>脚本 岡田 恵和 音楽 平沢 敦士 プロデューサー 若松 央樹 浅野 澄美</p> <p>演出 宮本理江子 谷村 政樹 並木 道子</p> <p>出演 小泉今日子 中井 貴一 坂口 憲二 内田 有紀 飯島 直子 ほか</p>	<p>45 歳独身女性、健康や老後に不安を感じるテレビ局ドラマプロデューサー吉野千明（小泉今日子）と 50 歳、妻と死別した寂しい子持ちの独身男性の長倉和平（中井貴一）。様々な経験を重ねてきた二人が若いころのようにはいかない大人の恋、仕事、人間関係、家族とのあり方を優しく、面白く、時に切ない会話劇で鎌倉を主な舞台に展開。“寂しくない大人なんていない”、“ひとりって切ないくらい自由”、“大人って淋しすぎると笑っちゃう”をキャッチコピーに繰り広げられる大人の魅力が十分に伝わるドラマ。</p>	<p>軽快なテンポと洒落な切り口で現代の男と女のありようにユーモラスに斬り込み、エンターテインメント性に富んだ作品となっている。</p> <p>主役の二人の演技はもちろん、脇を固める俳優たちの個性あふれるキャラクターも見所である。</p>
<p>鈴木先生</p> <p>平成 23. 4. 25 (月) ～6. 27 (月) 〈全 10 回〉 応募は第 1 回、第 2 回</p> <p>テレビ東京</p>	<p>プロデューサー 岡部 紳二 山鹿 達也 阿部 真士 竹内 文恵 守屋圭一郎</p> <p>原作 武富 健治 脚本 古沢 良太 音楽 大友 良英 監督 河合 勇人 出演 長谷川博己 臼田あさ美 山口 智充 田畑 智子 でんでん 富田 靖子 ほか</p>	<p>緋桜山中学 2 年 A 組の担任・鈴木先生（長谷川博己）が、理想のクラスを作るべく、独自の教育理論「鈴木式教育メソッド」を駆使しながら、生徒が起こす問題に真摯に向き合い、時に過剰に悩みながらも解決していく。全 10 回シリーズ。第 1 回と第 2 回では、中学生の性教育や給食のメニューの廃止、食事のマナー問題を取り上げる。</p> <p>どこにでもいそうな平凡な教師である鈴木先生が、どこにでも起こりえる問題について悩みながら、生徒の心呼び起こし、生徒間の対話、議論によって深い学びへ繋げ、さまざまな問題を解決していく。</p>	<p>中学校を舞台にした『鈴木先生』は、学園ドラマの定型にとらわれず、今という時代をシャープに切り取っている。</p> <p>ドキュメントのような生徒たちのリアルな演技、スリリングな展開で、個性的なドラマに仕上げ、テレビドラマに新局面を開いた。</p>

**第38回 放送文化基金賞**  
**「番組部門」**  
**— テレビエンターテインメント番組 —**

**優 秀 賞**

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概 要	選 考 理 由
IPPONグランプリ  平成 23. 6. 11 (土)  フジテレビジョン	企画 小松 純也 チーフプロデューサー 佐々木 将 演出 竹内 誠 プロデューサー 山本布美江 生沼 教行 山田 貢 アシスタントプロデューサー 竹内 承 デリクター 利光ともこ 出演 永田 修一 松本 人志 バカリズム 千原ジュニア 堀内 健 濱口 優 世界のナベアツ 設楽 統 有吉 弘行 近藤 春菜 真栄田 賢 又吉 直樹	お笑い芸人 10 名が A、B ブロック 5 名ずつに分かれて大喜利バトルを行う。審査は A ブロック対戦時には B ブロック出場者が、B ブロック対戦時には A ブロック出場者が行う。各ブロックの勝者 2 名で決勝を行い、勝者が IPPON グランプリの王者となる。松本人志が大喜利バトルの解説を担当。途中、視聴者からの投稿回答と自らの回答も披露する。“大喜利”というシンプルなフォーマットをスタイリッシュかつ豪華な世界観にアレンジ。芸人たちの真剣なバトルが繰り広げられる。	スポーツにも似たライブ感覚で、出演芸人たちの、発想の自由さと当意即妙のユーモアが感じられた。真剣勝負がさすがらしく、現代的な笑いを生み出した。
和風総本家 世界で見つけた <b>Made in Japan</b>  平成 23. 10. 20 (木)  テレビ大阪	プロデューサー 庄田 真人 内山 慶祐 石井辰之介 富田 英男 構成 伊藤 正宏 むらこし豪昭 興津 豪乃 デーブ八坂 出演 地井 武男 萬田 久子 東 貴博 増田 和也 山本 太郎 黒谷 友香	世界各国の思わぬ場所で活躍する「日本の道具や物」。ニューヨーク、パリ、ロンドン、トリノなどで「あなたの国の Made in Japan を知ませんか？」とインタビュー。パリで愛用されているカラフルな“南部鉄器の急須”、紅茶を愛するイギリス人に愛される“茶筒”、イタリアの美術品を修復する“和紙”、アメリカの有名家具職人が使う“カンナ”など世界が認めたモノをつくり出す日本の職人技を紹介。大切に受け継がれてきた“モノ”。「日本っていいな」をコンセプトに、忘れかけていた日本のすばらしさを追う。	海外視点から日本の良さを再発見しようという構成で、楽しみながら、知的好奇心をくすぐる番組。モノづくりを通して大切に受け継がれる日本の良さを再認識させてくれる。

テレビエンターテインメント番組賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>ぶらぶら美術・博物館 愛知県美術館「生誕100年ジャクソン・ポロック展」～ピカソを超えた男・ポロック、日本初の回顧展～</p> <p>平成 24. 1. 10 (火)</p> <p>BS 日本</p>	<p>プロデューサー 佐藤 明香 曾根 尚 石島 良治</p> <p>演出 藤好 耕</p> <p>ディレクター 中城よし子</p> <p>リサーチ 大橋 玲子</p> <p>ナレーター 奥田 民義</p> <p>音響効果 山崎 尚志</p> <p>出演 山田 五郎 おぎやはぎ (小木博明、 矢作兼) 相沢 紗世</p>	<p>誰もが一度は目にしたことがある名画・彫刻・文化財。そんな古今東西の文化を“お散歩感覚”で体験し、作品の裏にある背景・エピソードを紹介する。</p> <p>2012年の最初は愛知県。名古屋城の本丸御殿の壮大な復元工事を見学し、愛知県美術館で開催中の「ジャクソン・ポロック展」へ。“ピカソを超えた男”と言われる現代アートの革命児、ポロック。その生誕100年を記念した日本初の回顧展。素人目線のおぎやはぎ、それらすべての質問に答える山田五郎のナビゲートで、ポロックの作品と人生に迫る。</p>	<p>美術番組と散歩番組をクロスオーバーさせるというアイデアが面白く、山田五郎とおぎやはぎの掛け合いや解説も絶妙で、これまでにない、親しみやすい美術番組になっている。</p>
<p>ママからの手紙～10年後に届いたメッセージ～</p> <p>平成 23. 5. 30 (月)</p> <p>福井テレビジョン放送</p>	<p>プロデューサー 酒井美樹男 吉田 尚広</p> <p>ディレクター 畑 祐一郎</p> <p>ナレーション 大竹しのぶ</p> <p>構成 水野 宗徳</p> <p>撮影 伊藤慎一郎</p> <p>出演 桑原 達秋</p>	<p>2000年春、福井県内の公園で母親が10年後の子どもへ手紙を送るというイベントが福井テレビの企画で行われた。そして10年後の2010年に、およそ800通の手紙が発送されたが、68通の手紙が宛先不明で戻って来てしまった。宛先不明の手紙の家族を探し、手紙を手渡す。10年という歳月一手紙を受取ることを拒否する思春期を迎えた子ども、離婚した人、夫と死別した人など様々な家族に出会う。しかし共通していたのは、子どもの幸せを願う母親たちの姿だった。</p>	<p>家族の素顔をうまくとらえ、家族間で愛情を表現することの不得意な日本人に表現の機会を与えた番組。テレビ局が10年間手紙を預るという企画の継続性も感じられる。</p>

### 第38回 放送文化基金賞

#### 「番組部門」

#### — ラジオ番組 —

#### 本賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
遠いふるさと〜フクシマの家族・2011〜  平成 23. 8. 10 (水)  NHK福島放送局	報告・取材 岡崎 太希 ・制作 制作統括 大橋 信之 技術 高橋 正吾 語り 阿部 陽子 演出 杉尾 宗紀 音響効果 田中 繁良 編集 橋本 美規 出演 齊藤智さん 一家	海辺ののどかな町だった福島県大熊町。1971年に原発1号機が運転開始してから町の財政は原発に依存し、雇用も原発頼み、まさに「原発の町」だった。だが3月11日の東日本大震災と巨大津波、そして原発事故と放射能汚染という誰も経験したことのない事態が進行した。唐突に告げられた避難勧告の下、町民は転々と避難生活を余儀なくされた。齊藤智さん一家7人も30km離れた町の体育館に辿り着いた。原発の仕事を請け負う会社を経営していた智さんの収入が止まり、一家の収入のアテが無くなってしまった不安や、障害のある長女のための仮設住宅選び、進学か就職に悩む高校3年生の長男、住まいが定まらず志望校が決められない中学3年生の次男、心に傷を負ってしまった小学2年生の三男など、三世代7人の声を聞く。	「流浪」という今まであまり考えられなかった苦難を、一組の家族、三世代7人を追うことで表現した。 一家に起きる様々な事柄を、各世代の声を通じて語らせ、ことの重大さ、深刻さ、悲劇性をあくまでそのまま聞かせた。

#### 優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
山下達郎のTSUTAYAサンデー・ソングブック  平成 24. 3. 11 (日)  エフエム東京	プロデューサー 原田 洋子 砂井 博文 ディレクター 山岸 清佳 アシスタントディレクター 宮本 貴文 ミキサー 小太刀 健 出演 山下 達郎	山下達郎がパーソナリティーをつとめるオールディーズ・プログラム。毎週日曜日14時～14時55分に放送。 東日本大震災から一年の3月11日は、「東日本大震災一周年追悼と復興祈念プログラム」と題して放送。被災したリスナーからのお便りを紹介しながら、山下達郎自身の心の平安に役立っている洋楽曲と自分の曲、この日のために新たにスタジオレコーディングした「希望という名の光」をオンエア。震災発生時刻の14時46分には追悼と復興祈念のメッセージと1分間の黙祷を捧げた。	東日本大震災から1年という日にあえてレギュラー番組として放送。山下達郎の被災地への思いとリスナーとのつながりを感じさせた。20年近く続く音楽番組のいつも通りの放送の中で、音楽の力によって鎮魂とひとときの癒し、希望を届けた。

ラジオ番組賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概 要	選 考 理 由
<p>FMシアター 飛ばせハイウェイ、 飛ばせ人生</p> <p>平成 23. 4. 16 (土)</p> <p>NHK</p>	<p>作 樋口 ミユ 音楽 小林 洋平 制作統括 小見山佳典 技術 糸林 薫 音響効果 岩崎 進 演出 江澤 俊彦 出演 高橋 和也 原田 芳雄 市原 悦子 三村 聡 大路 恵美 此島 愛子</p>	<p>沖縄出身の長距離トラック運 転手の比嘉（高橋和也）は、押 し寄せる不況の中、過酷な労働 状況で働いている。ある日、「L Aまで」と、ヒッチハイクする 初老の男・松田重一郎（原田芳 雄）を乗せることになった。老 人は、鞆の中に小さくなった 妻・陽子（市原悦子）が入っ ていると言う。認知症かと疑っ ていた比嘉だが、やがて老人の妻 の姿が見えてくる。</p> <p>家族…。失ったり、長く遠く 離れて暮らしてみても、そのかけ がえのなさに初めて気付くこと がある。老人との出会いを通じ て、仕事に忙殺されていた自分 の人生を見つめ直し、新たに出 発していくまでの姿を描く。</p>	<p>重いテーマを斬新に 表現し、大切な人を失う ことの意味、そのあとを 生きることの現代にお ける可能性を巧みな脚 本と出演者の声で表現 した。</p>

第38回放送文化基金賞

「番組部門」－個別分野－

演技賞

受賞者	対象番組	選考理由等
もとき まさひろ 本木 雅弘	スペシャルドラマ 「坂の上の雲」 (NHK)  テレビドラマ番組	懸命に勤勉努力を続けて夢を実現した明治期の日本人の実直な真剣さを表現しつつ、時代が求める過酷な矛盾に耐え切れない苦悩を真摯に演じ切った。

演技賞

こいずみ きょうこ 小泉 今日子	木曜劇場 最後から二番目の恋 (フジテレビジョン)  テレビドラマ番組	ダブル主演の中井貴一と抱腹絶倒の毒舌合戦を展開したあげく互いに心を通わせていくという絶妙な駆け引きをユーモアたっぷりに且つ、リアルに演じた。
---------------------	-------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------

出演者賞

やました たつろう 山下 達郎	山下達郎のT S U T A Y Aサンデー・ソングブ ック (エフエム東京)  ラジオ番組	東日本大震災から一年という日に、長年続いている番組を通して、自ら選曲した音楽で広くリスナーたちの心を癒し、鎮魂と希望を届けた。
--------------------	---------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------

企画賞

ふじよし こう 藤好 耕	ぶらぶら美術・博物館 (BS日本)  テレビエンターテインメント番組	散歩感覚で美術館を巡り、出演者たちの絶妙な掛け合いと解説で、親しみやすい美術番組にした。
-----------------	---------------------------------------------	----------------------------------------------

映像賞

きのした よしのり 木下 義則	幾歳経るとも要心あれ (IBC岩手放送)  テレビドキュメンタリー番組	映像にも報告にも被災者や被災地に深いかかわりを抱いていることが染み出ている。
とくだ のりあき 徳田 憲亮	NHKスペシャル 38分間 (NHK)  テレビドキュメンタリー番組	撮影者であると同時に一人の人間として、被災した人々や地域に真摯に向き合う制作者の姿がある。

**第38回放送文化基金賞**  
**「個人・グループ部門」**  
**－ 放送文化 －**

受賞者	業績	業績内容・選考理由
さいとう じゅんいち 齊藤 潤一 (東海テレビ放送報道部ディレクター)	司法をテーマにした優れたドキュメンタリーの制作と多様な表現活動の展開	1992年に東海テレビ放送に入り、営業部、報道部記者などを経てドキュメンタリー制作に携わる。2006年放送の「重い扉～名張毒ぶどう酒事件の45年～」から昨年放送の「死刑弁護人」まで、司法をテーマにした作品を手掛けてきた。既成概念や先入観、社会の風潮に流されない視点と、取材対象に肉薄しながら最後の判断は見る側に委ねる手法を貫いている。また、地方局の番組が全国に放送されにくい現状を打開すべく、劇場公開、書籍出版など多様な表現活動に取りくんでいる。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
JNN三陸臨時支局	東日本大震災の被災地に開設した民放ニュースネットワーク初の臨時支局での持続的な報道活動	JNN三陸臨時支局は、TBSテレビをキー局とするニュースネットワークJNNが昨年5月1日に宮城県気仙沼市の気仙沼プラザホテル内に開設したもの。加盟局28局の共同運営という前例のない形を取り、全国から集まったスタッフが、最前線で被災者と共に暮らしながら、様々な視点で被災地の現状を取材し伝えている。民放のニュースネットワークが、キー局とローカル局という枠組みを超えて国内支局を開設したことは意義深く、東日本大震災における画期的、意欲的な報道活動の一つである。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
NHK ETV 特集取材班	ETV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」シリーズの制作	昨年5月に放送した第1作では、事故直後から原発30キロ圏内の取材を敢行し、放射能汚染や被災地住民の実態をテレビメディアとしていち早く伝えた。その後、1年後の3月11日までにシリーズとして5本の番組を制作。住民を不安に陥らせていた内部被ばくの実情、手つかずになっていた海洋汚染や謎のまま放置されていた事故初期のヨウ素被ばくの実態解明などを行った。政府や東京電力の発表に頼らず、科学者と連携した調査報道の姿勢を貫き、国民の放射能汚染に対する理解を深め、視聴者の支持を得た。

**第38回放送文化基金賞**  
**「個人・グループ部門」**  
**－ 放送技術 －**

受賞者	業績	業績内容・選考理由
地上デジタル放送受信インフラ情報把握分析グループ  代表 津田 健吾  (デジタル放送推進協会、NHK)	地上デジタル受信インフラ管理分析システムの運用による、受信者の地デジ移行を推進	デジタル放送推進協会とNHKは、地上放送のデジタル移行に際し、全国5,000万世帯の受信設備インフラ整備状況を「戸建住宅」、「集合住宅」、「共同受信施設」など、NHKが構築した受信形態別の管理分析システムを運用することにより、これらの受信形態別の対応方針を明確にし、障害対策共聴約9万施設、集合住宅共聴約214万施設などに対しても、きめ細かな視聴者対応を行い、デジタル放送への移行という歴史的な事業の一翼を担った。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
マクロダイバーシチ受信システム開発グループ  代表 光山 和彦  (NHK)	移動中継用マイクロ波帯マクロダイバーシチ受信システムの開発	ロードレースの中継番組では、ランナーと並走するバイクで撮影した映像を、ヘリコプターを中継してスイッチングセンターへ送り届けている。ビル陰や悪天候などでヘリコプターを経由できない場合でも、バイク中継が可能となるように、最大16の基地局をコースに設置し、バイクからの映像信号をこれらの基地局で受信し、光回線を経由してスイッチングセンターに集めた後、各信号の到達時間差を補正しながら受信状態の良い信号を選択して合成するシステムを開発し実用化した。

### 第38回 放送文化基金賞

#### 「特別賞」

#### 臨時災害放送局 29局

(現在は、下線の 21局 が放送を続けている)

##### <岩手県 8局>

はなまきさいがいエフエム、おうしゅうさいがいエフエム、みやこさいがいエフエム  
おおふなとさいがいエフエム、かまいしさいがいエフエム、みやこたろうさいがいエフエム、りくぜんたかたさいがいエフエム、おおつちさいがいエフエム

##### <宮城県 12局>

おおさきさいがいエフエム、とめさいがいエフエム、いしのまきさいがいエフエム  
しおがまさいがいエフエム、いわぬまさいがいエフエム、やまもとさいがいエフエム  
けせんぬまさいがいエフエム、わたりさいがいエフエム、なとりさいがいエフエム  
おながわさいがいエフエム、けせんぬまもとよしさいがいエフエム、みなみさんりくさいがいエフエム

##### <福島県 6局>

ふくしまさいがいエフエム、いわきさいがいエフエム、そうまさいがいエフエム  
 すかがわさいがいエフエム、みなみそうまさいがいエフエム、とみおかさいがいエフエム

##### <茨城県 3局>

かしまさいがいエフエム、つくばさいがいエフエム、たかはぎさいがいエフエム

◎ 東日本大震災に伴う臨時災害放送局の開設状況 (2012年2月現在)

